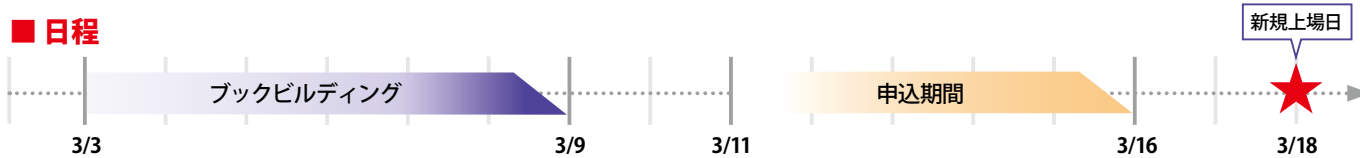


## IPO銘柄 イワキ (銘柄名:イワキポンプ) (6237・東証2部)

コード	投資単位	公開株式数	仮条件 (上限 PER)	主幹事証券
6237	100株	公募: 60.00万株 売出: 0.00万株 (OA9.00万株)	1,900円~2,000円 (8.9倍)	大和証券



### 薬液輸送に使用されるケミカルポンプなどを手掛ける

#### ■ 事業内容

化学薬品など薬液輸送に使用されるケミカルポンプ、ポンプ専用コントローラーなどの周辺機器を手掛ける。主力はマグネットポンプで、液漏れの無い完全無漏構造ポンプで、フッ素樹脂など耐蝕性に優れた材料を採用し、強酸、強アルカリでも腐食しない特長を持つ。半導体・液晶市場や医療機器、表面処理装置、化学市場などに用いられる。大型船バラスト水の水処理や化学市場向けの定量ポンプ、シリコンウエハーのレジスト液塗布工程などに使用される空気駆動ポンプ、家庭用燃料電池の改質水供給などに用いられる回転容積ポンプなどがある。浄水場の塩素滅菌プロセスなどに用いられるシステム製品も手掛ける。ケミカルポンプ事業の単一業態。

#### ■ 特徴

製品ラインアップは60製品以上のシリーズがあり、型式は数万点に上る。多品種少量生産を強みとする一方で、年間80万台の生産能力を誇る。埼玉と福島の国内工場がメインで、海外からの短納期要求などにタイムリーに対応するため、一部の海外関係会社で現地組み立ても行う。

### アナリストコメント

#### ■ 定量分析

16年3月期の連結経常利益は、前期比34.9%増の20億3,300万円を計画する。国内は半導体・液晶市場、医療機器市場、水処理市場、化学市場など、それぞれが堅調に推移しており、業績面には安定感がある。海外はASEAN地区の経済停滞など不安要素もある。

#### ■ 定性分析

堅実でしっかりした企業だが、ビジネスモデルは地味で新鮮味が乏しく、上場市場は初値買いの入りづらい東証2部市場への上場案件でもある。ただ、16年3月期に大幅増配を予定しており、仮条件の上限で試算した配当利回りが4%近くに達するため、下支え要因となりそうだ。

#### ■ 需給状況

仮条件の上限で試算した市場からの吸収金額は約13.8億円。東証2部上場案件としては特段の荷もたれ感はない。ベンチャーキャピタル保有株もない。ただ、3月18日は6社が同日上場する予定であり、東証2部上場ということもあって埋もれてしまう可能性が高そうだ。  
(小泉健太)

#### ■ 類似企業

イワキ (6237・東証2部)	予想PER8.9倍 (仮条件上限)
帝国電機製作所 (6333・東証1部)	予想PER9.1倍
タクミナ (6322・東証2部)	予想PER9.1倍

#### ■ 引受証券

大和証券、SMBC日興証券、三菱UFJモルガン・スタンレー証券、いちよし証券、エース証券、丸三証券、SBI証券

## 業績・財務指標

	売上高 (百万円)	前年比 (%)	経常利益 (百万円)	前年比 (%)	純利益 (百万円)	前年比 (%)	EPS (円)	1株あたり 年間配当金(円)
14年3月期(実績)	21,535	—	1,576	—	825	—	121.4	10.0
15年3月期(実績)	22,799	5.9	1,506	▲4.4	1,030	24.8	151.6	15.0
16年3月期(会社予想)	24,544	7.6	2,033	34.9	1,538	49.3	225.7	78.8

※ 14年3月期より連結決算。16年1月に株式分割(1株→10株)を実施。14年3月期、15年3月期のEPSは遡及修正

	発行済み 株式総数(株)	総資産 (百万円)	純資産 (百万円)	資本金 (百万円)	BPS (円)	自己資本比率 (%)	自己資本当期 純利益率(%)
14年3月期	679,000	26,174	13,031	380	1,918.0	49.6	6.7
15年3月期	679,000	24,975	14,336	380	2,110.0	57.2	7.5

※ 14年3月期および15年3月期のBPSは遡及修正

## 大株主上位(上場前)

	氏名または名称	所有株式数(株)	所有割合(%)
1	イワキ産業	1,052,250	15.49
2	藤中ホールディングス	900,000	13.25
3	藤中 義昭	593,120	8.73
4	藤中 茂	432,210	6.36
5	藤中 留美	431,300	6.35
6	イワキ従業員持株会	411,880	6.06
7	上條 照彦	400,000	5.89
8	山田 茂宏	138,600	2.04
9	石山 積	132,940	1.96
10	藤中 秀子	132,530	1.95

## 経営陣

役職	氏名
取締役社長(代表取締役)	藤中 茂
専務取締役	松田 健二
常務取締役 国内営業本部長	打田 秀樹
取締役	松下 主税
取締役 海外営業本部長	阿相 博章
取締役	茅原 敏広
取締役	小倉 健一
常勤監査役	竹村 秀一
監査役	若松 俊樹
監査役	長澤 正浩

# モーニングスターIPOレポートの読み方

## 特 徴

モーニングスター IPO<sup>(※1)</sup> レポートでは、日本国内の取引所に新たに上場する銘柄を取り上げ、モーニングスターが位置する中立的な第三者としての立場から IPO に関する情報を提供いたします。ブックビルディング<sup>(※2)</sup> が始まる前にレポートを提供することにより、IPO への参加を検討している投資家にとって有用な情報となるでしょう。モーニングスター IPO レポートには、企業名・コード・公開株式数など基本情報やブックビルディング期間・申込期間など IPO 日程のほか、モーニングスターの担当アナリストによるコメントを掲載いたします。

※1 IPO (Initial Public Offering)：新規株式公開。

※2 ブックビルディング：引受証券会社が機関投資家などの意見をもとに決定した仮条件を投資家に提示し、投資家の需要がどの程度あるかを把握することによって、マーケットの動向に即した公開価格を決定する方法。一般的に需要積み上げ方式と呼ばれる。

## 項目説明

### ■ 事業内容

新規上場する企業の事業概略を解説します。主要製品やサービスのほか、セグメント別の売上高構成比率などを記載。新規上場時の事業の状況や、先行きの見通しなども交えて分かり易くお伝えいたします。

### ■ 特徴

新規上場企業の設立経緯から現在の事業環境、ビジネスモデルや事業の強み、顧客動向、業績内容、海外展開、経営陣など様々な観点から特筆すべきエッセンスのみを抽出し、掲載いたします。

### ■ 定量分析

新規上場時に開示される前期、前々期の業績実績と今期の会社計画を用い、業績の成長性や収益性、財務安定性の面から新規上場銘柄を分析いたします。

### ■ 定性分析

新規上場銘柄が持つ事業の特性や事業環境、セクター動向などを踏まえ、定性的な評価をするほか、足元の株式市場の状況などを考慮して、マーケットから見た新規上場銘柄に対する見方なども掲載します。

### ■ 需給状況

公募・売り出しの株数と仮条件をふまえ、市場からの吸収金額を試算するほか、足元の新興市場の動向、類似企業の株価推移、ベンチャーキャピタルによる保有株放出の可能性なども考慮し、上場初日の需給状況を予想いたします。

### ■ 類似企業

新規上場企業と同じ業種に属する競合他社や類似企業を取り上げて PER を併記いたします。PER の水準は初値の参考指標として有効です。

## 本資料のご留意事項

- ・本資料は投資判断の参考としての情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。銘柄の選択、投資判断の最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。
- ・本資料は、SBI証券が、モーニングスター株式会社が信頼できると判断して作成したレポートを有償で提供を受けておりますが、その正確性、安全性等について保証するものではありません。本資料に掲載された意見は、作成日における判断であり、予告なしに変更される場合があります。
- ・本資料の著作権、知的所有権等一切の権利はモーニングスター株式会社並びに Morningstar.inc に帰属しますので、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。

## 手数料およびリスク等について

### 国内株式取引の手数料

- ・株式取引にあたっては、所定の手数料がかかります（手数料はお客様の取引コース、取引チャネル、取引プランや売買代金等により異なることから記載していません）。詳しくは、SBI証券WEBサイトの当該商品等のページ、金融商品取引法に係る表示又は上場有価証券等書面等をご確認ください。

### 国内株式取引のリスク情報について

- ・国内株式の取引は、株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。
- ・信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、時として多額の損失が発生する可能性を有しています。
- ・信用取引の対象となっている株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、その損失の額が、差入れた委託保証金額を上回るおそれがあります。

### 留意点

- ・SBI証券が保有する株式等や主幹事担当会社の重要な開示事項（利益相反関係等）についてはSBI証券WEBサイト（[http://search.sbise.co.jp/v2/popwin/info/home/pop690\\_kaiji.html](http://search.sbise.co.jp/v2/popwin/info/home/pop690_kaiji.html)）をご確認ください。または、カスタマーサービスセンター（0120-104-214（携帯電話・PHSからは03-5562-7530））までお問い合わせください。
- ・取引コースや商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、ウェブサイト、等をよくご確認ください。または最寄の取扱店までお問い合わせください。
- ・最終的な投資判断は目論見書の内容をご確認ください。目論見書はSBI証券のホームページで入手いただけます。

商号等：株式会社 SBI証券 金融商品取引業者  
登録番号：関東財務局長（金商）第 44 号  
加入協会：日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会